

1. 概況

全体の景況感(全29店舗)

	好転	不変	悪化
前月と比較して	1	23	5
今後3か月程度の見通し	0	23	6

【漁業】

銚子港の総水揚げ数量は10,697トン、前年同月比+3,428トンとなった。総水揚げ金額は2,064百万円で、前年同月比+1,000百万円となった。前年同月比では総水揚げ数量・金額ともに大幅に増加したが、前月比においてはサバの水揚げ高減少を要因に、総水揚げ数量で27,804トン、総水揚げ金額は1,295百万円と数量・金額ともに大幅に減少した。

【農業】

銚子地区のスイカとトウモロコシの価格相場はスイカが1箱(2玉)1,800円~3,000円程度、トウモロコシは1箱(5kg)1,000円前後と、前月とほぼ同水準の価格で取引されており、価格相場は安定している。また、例年と比較しても同水準の価格相場となっている。なお、トウモロコシは8月中旬で出荷を終了しており、スイカについても収穫期の終わりを迎えている。

【商業】

銚子地区の各商店街においては、夏の観光シーズンと併せてお祭り等のイベントが多く開催されたことから、観光客を含め来街者は増加したが売上の増加には繋がらず、前年同月対比売上高の減少が続いている。また、各地域の商店街においても、ガソリン等の価格値上げによる影響から消費は落ち込んでおり売上高の減少と収益性の低下が顕在化している。

【建設業】

7月の住宅着工戸数は、前年同月比にて千葉県は29.7%(1,353戸)増加しており、茨城県も18.8%(409戸)の増加となった。また、前月(6月)対比においても、千葉県で7.8%(431戸)、茨城県は21.4%(456戸)の増加となった。

【観光業】

各地域ともに、夏の観光シーズンを迎え観光客の増加に期待していたが、ガソリン価格高騰の影響によりマイカー利用の個人観光客は減少しており、ホテル・旅館を始めとした宿泊施設やプール等のレジャー施設の売上高減少の大きな要因となっている。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

漁業・水産加工業

銚子港の総水揚数量は10,697トン、前年同月比+3,428トンとなった。総水揚金額は2,064百万円で、前年同月比+1,000百万円となった。前年同月比では総水揚数量・金額ともに大幅に増加したが、前月比においてはサバの水揚高減少を要因に、総水揚数量で27,804トン、総水揚金額は1,295百万円と数量・金額ともに大幅に減少した。

波崎港に所属の漁船は、サバとマイワシを主に三陸沖で操業しており、八戸・石巻・銚子の各漁港に水揚を行っている。海外輸出用の需要もあり魚価は高値で安定している。

勝浦港の総水揚数量は883トンで、前年同月比+393トンとなった。総水揚金額は387百万円で前年同月比+187百万円となった。8月は、例年「イセエビ・アワビ・イカ」の獲れる時期であるが今年是不漁となっている。また、前月比では、マグロの水揚高が大幅に減少したことから、総水揚数量で1,217トン、総水揚金額は187百万円と数量・金額ともに減少した。

大原港では、イセエビ漁が解禁となり、水揚が開始された。水揚量は昨年と比較して好調であり、キロ@4,500円程度の価格相場で取引されている。

水産加工業については、国内加工用のサイズとなるサバの水揚数量が少なく、国内サバを主力とする加工業者は原魚不足が問題化している。なお、サンマのTAC（漁獲規制）枠が45万トンとなり、17万トン増加したことから加工と輸出の増加に期待している。

各漁港の漁業者・水産加工業者とともに、燃料費高騰による影響が顕著に現れており、今後も更に収益の圧迫が懸念される。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

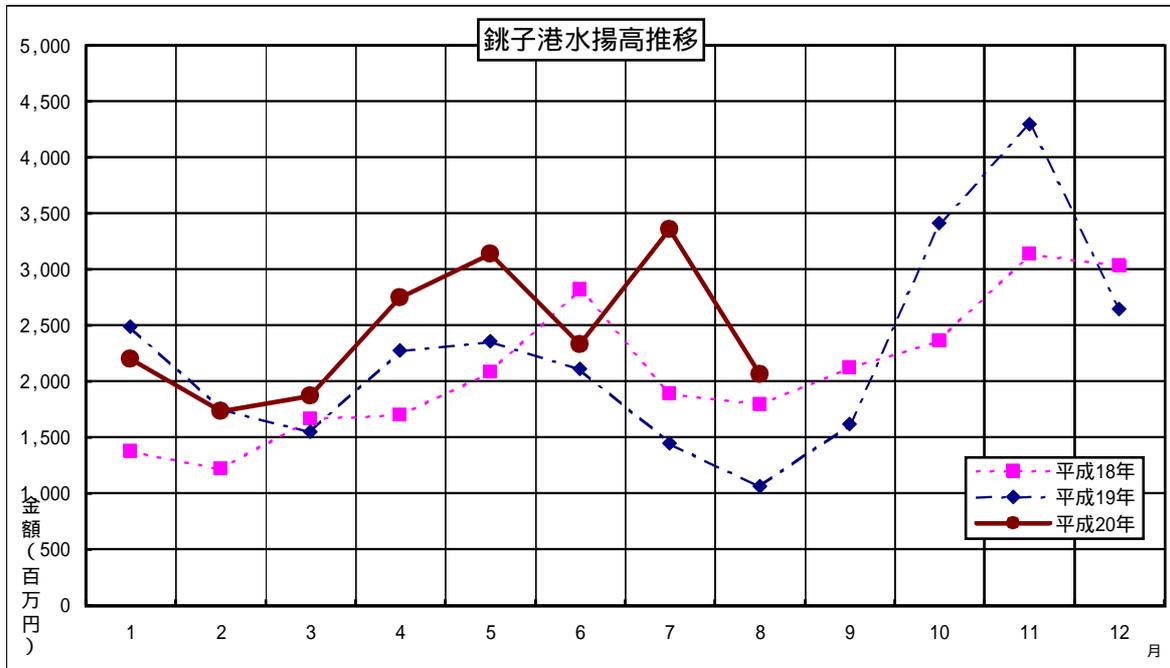
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H20年8月	H19年8月	前年同月比	H20年8月	H19年8月	前年同月比
鰯		2,274	4,048	1,774	257,173	340,919	83,746
鯖		5,673	2,432	3,241	531,522	189,569	341,953
鰹		271	129	142	33,057	18,709	14,348
鰹・鮪		1,557	231	1,326	879,152	237,034	642,118
(内鰹一本釣)		7	26	19	2,717	5,002	2,285
秋刀魚		726	192	534	151,156	39,295	111,861
底曳		0	0	0	0	0	0
その他		196	237	41	212,542	238,137	25,595
合計		10,697	7,269	3,428	2,064,602	1,063,663	1,000,939

前月比	数量	27.78%
	金額	61.46%
前年同月比	数量	147.16%
	金額	194.10%

水揚日数



	H20年8月	H20年7月	H19年8月
鰯	14日	18日	17日
鯖	14日	14日	10日
鰹	4日	1日	2日
鰹・鮪	22日	16日	18日
(内鰹一本釣)	1日	0日	1日
秋刀魚	5日	0日	3日
底曳	0日	0日	0日
その他	23日	23日	24日



農 業

銚子地区のスイカとトウモロコシの価格相場は、しまスイカが1箱(2玉)1,800円～2,500円、黒スイカは1箱(2玉)2,500円～3,000円、トウモロコシについては1箱(5kg)1,000円前後と、前月とほぼ同水準の価格で取引されており、価格相場は安定している。また、例年と比較しても同水準の価格相場となっている。なお、トウモロコシは8月中旬で出荷を終了しており、スイカについても収穫期の終わりを迎えている。

波崎地区のピーマンの出荷量は前年並みであった。また、1袋あたりの価格相場については上旬で80円前後、中旬は50円、下旬が50円となり、前年同月とほぼ同水準の価格相場となったが、前月と比較して3割程度の高値となっている。

海上地区のマッシュルームは、1パック(100g)100円前後と例年と同水準の価格で取引されており、価格相場は安定している。

旭・匠瑳地区の稲作は、天候不良の影響により例年と比較して収穫は遅れているが、出来高は例年並の予想である。新米価格は前年と比較して高値が見込まれていたが、例年並の価格相場となっている。

一部の地域において、大規模な耕地整理や農地の基盤整備事業が行われており、農業者の法人化や大型化が進んで行く傾向にある。

現在も続く燃料費及び各種農業資材価格の値上りに伴い、今後も経費負担増加による資金繰りの圧迫や収益減少等の悪影響が懸念される。

商 業

銚子地区の各商店街においては、夏の観光シーズンと併せてお祭り等のイベントが多く開催された事から、観光客を含め来街者の増加が見られた。しかし、売上の増加には繋がらず、前年同月対比売上高の減少が続いている。

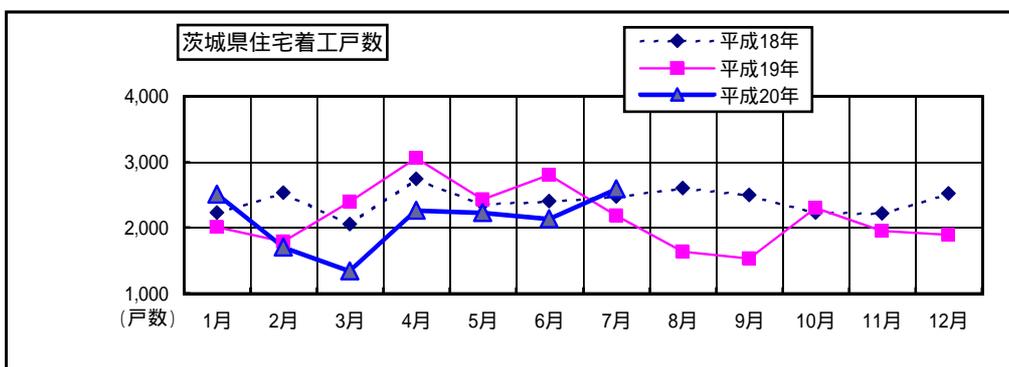
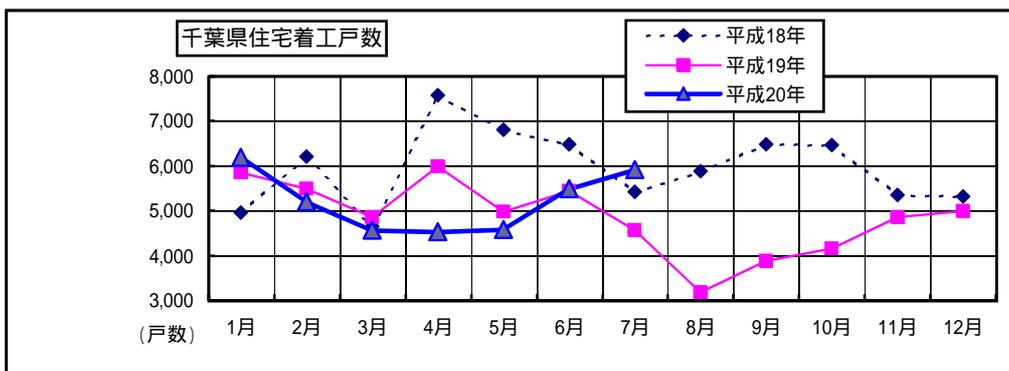
なお、銚子地区の平成17年11月に閉店した商業施設については、平成20年11月14日に物件所有者によるリニューアルオープンを計画していたが、来年春のオープン予定に延期となった。近隣の商店街からの要望もあり、当初計画していた11月14日に一部開業も検討されていたが、諸事情により一部開業についても断念して正式にオープンの延期が決まった。

他の各地域の商店街においても、原油価格高騰を要因とした仕入価格の上昇による収益性の低下が顕在化しており、併せてガソリン価格等の値上げによる消費意欲低迷から、売上高についても減少している状況である。

建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	5,915	5,484	431
茨城県	2,585	2,129	456



7月の住宅着工戸数は、前年同月比にて千葉県は29.7%(1,353戸)増加しており、茨城県も18.8%(409戸)の増加と、千葉県・茨城県ともに前年同月を上回った。両県ともに前年同月を上回ったのは、1月以来6ヶ月ぶりである。また、前月(6月)対比においても、千葉県は7.8%(431戸)増加しており3ヶ月連続の対前月比増加となった。茨城県についても、7月は本年最大の着工戸数であり前月(6月)対比にて21.4%(456戸)の増加となった。

観光業

各地域ともに、夏の観光シーズンを迎え観光客の増加に期待していたが、ガソリン価格高騰の影響によりマイカー利用の個人観光客は減少しており、ホテル・旅館を始めとした宿泊施設及びプール等のレジャー施設や周辺駐車場の売上高減少の大きな要因となっている。

銚子地区では多くの観光客が訪れているが、廉価なツアー客が大半である為、個人単価は低くおみやげ物等の購入は必要最低限に抑えている様に見られる。また、一部の宿泊施設においては、夏のシーズン価格を導入する期間であるにも拘らず、格安の宿泊パックを販売して、空室を埋めている状況となっている。

飯岡地区の釣り船は、天候次第で大きく業況が変化する為、天候不順を懸念していたが、天候に恵まれた事から客足は順調であった。

勝浦地区では、多くの観光客が訪れ勝浦・御宿の海岸は海水浴客で、まずまずの賑わいを見せた。

不動産業

銚子地区では、需要の高い地区での不動産販売が順調に行われている。

また、一部地域においては販売用物件が不足している状況もあり、不動産販売は安定している様に見られる。

養豚業・畜産業

平成20年8月の東京市場での豚枝肉相場は、平均568円/kgと前年同月比の高値を維持したが、前月対比では2ヶ月連続の価格低下となった。

前月対比 24円/kg (平成20年7月 平均価格 592円/kg)

前年同月平均対比 +10円/kg (平成19年8月 平均価格 558円/kg)

畜産業は、配合飼料価格と各種材料費の値上りの影響が続いている。

自動車ディラ

8月の千葉県新車登録台数は9,724台で、前年同月比13.88%の減少となった。これにより登録台数は1月・2月・4月・7月が増加、3月・5月・6月・8月が減少と、増減を繰り返す形となった。1月～8月の累計では前年同期比0.31%の微増となっている。

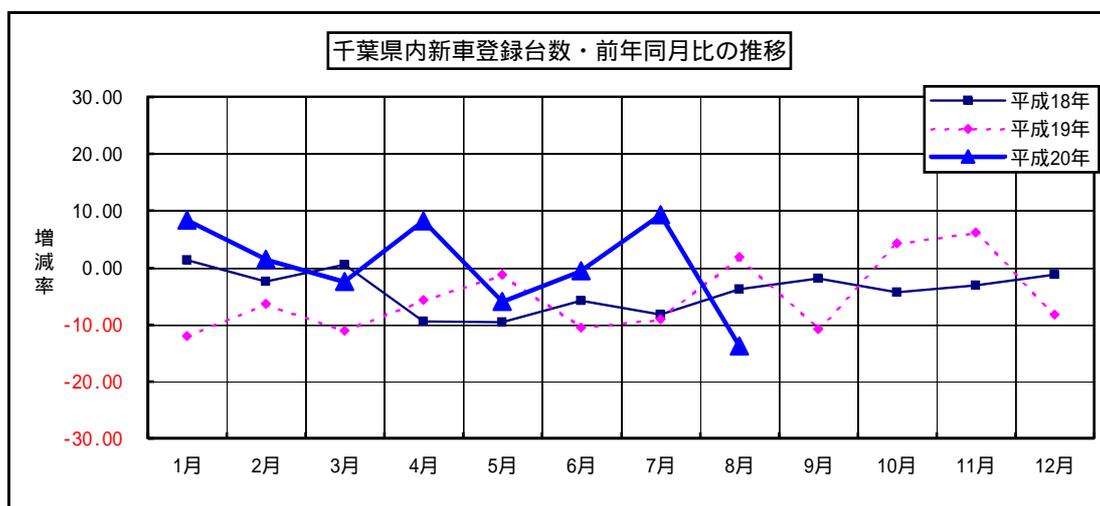
8月の市場別販売状況については、乗用車市場の車型別で2BOX・ステーションワゴンが増加したが、3BOX・純輸入乗用車・RV車は減少により、乗用車市場全体では前年同月比11.68%の減少となった。また、貨物車市場においては前年同月比29.38%減少となり、平成19年6月から連続で前年同月実績を下回っている。

メーカー別の登録台数では、ホンダ・富士重工・スズキ・三菱ふそうが前年同月台数を上回った。なお、メーカー別の占拠率は、トヨタが45.2%となり、次いでホンダが16.4%、日産が15.7%の占拠率となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	3,480	6,120	56.86%	4,349	80.02%
	小 型	4,769	6,966	68.46%	4,991	95.55%
	小 計	8,249	13,086	63.04%	9,340	88.32%
貨 物	普 通	409	468	87.39%	672	60.86%
	小 型	728	1,036	70.27%	938	77.61%
	小 計	1,137	1,504	75.60%	1,610	70.62%
特 殊 等	特 殊	267	291	91.75%	266	100.38%
	バ ス	71	64	110.94%	75	94.67%
	小 計	338	355	95.21%	341	99.12%
総 合 計		9,724	14,945	65.07%	11,291	86.12%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.84	0.77	0.07	0.99	0.15
茂原公共職業安定所管内	0.71	0.78	0.07	0.79	0.08
いすみ公共職業安定所管内	0.94	0.99	0.05	0.98	0.04
成田公共職業安定所管内	0.95	0.96	0.01	1.06	0.11
佐原公共職業安定所管内	1.12	1.17	0.05	1.24	0.12
千葉県	0.83	0.83	0.00	0.98	0.15
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.83	0.82	0.01	0.82	0.01
茨城県	0.91	0.93	0.02	1.01	0.10

有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	132,414	130,079	2,335
〃 (うち 動力使用量)	99,352	98,654	698

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

平成20年8月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は35件で、前月比にて12件の減少となった。また、前年同月比では7件の増加となり、今年2番目に多い倒産件数であった。

負債総額は67億円で、前月比24億円の減少となった。前月は大型倒産が2件の発生したのに対して、8月は1件であった事と併せて倒産件数の減少も負債総額減少の要因となっている。また、前年同月比においても36億円の減少となった。

倒産会社の従業員数は487名と前月比にて116名増加しており、今年最多の人数となった。

産業別の倒産件数は「建設業」が14件と多く、次いで「サービス業」が6件、「卸売業」が5件となった。負債額でも「建設業」が47億円で多く、次いで「卸売業」が6億円、「運輸業」が3億円であった。

原因別では、「業績不振」によるものが28件と多く、次いで「他社倒産の余波」が4件となった。

負債総額10億円以上の大型倒産

松戸市 土木工事業者(建設業)・・・負債総額 約28億円

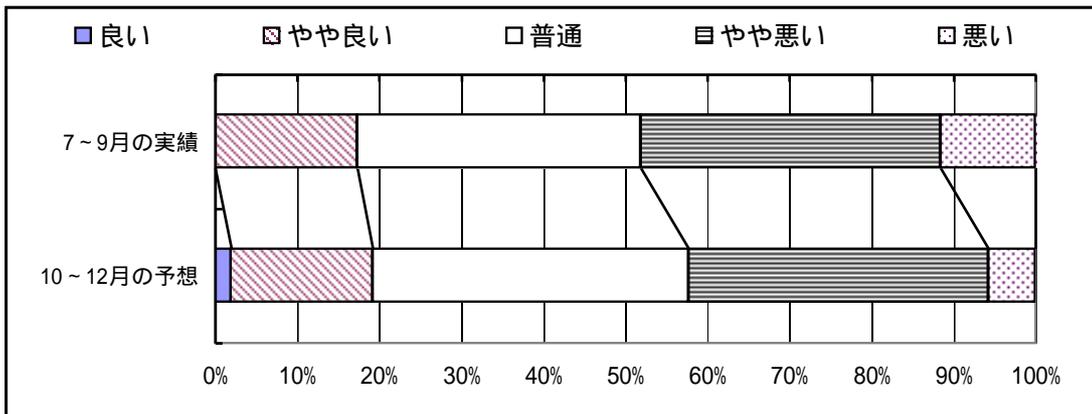
(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

特集

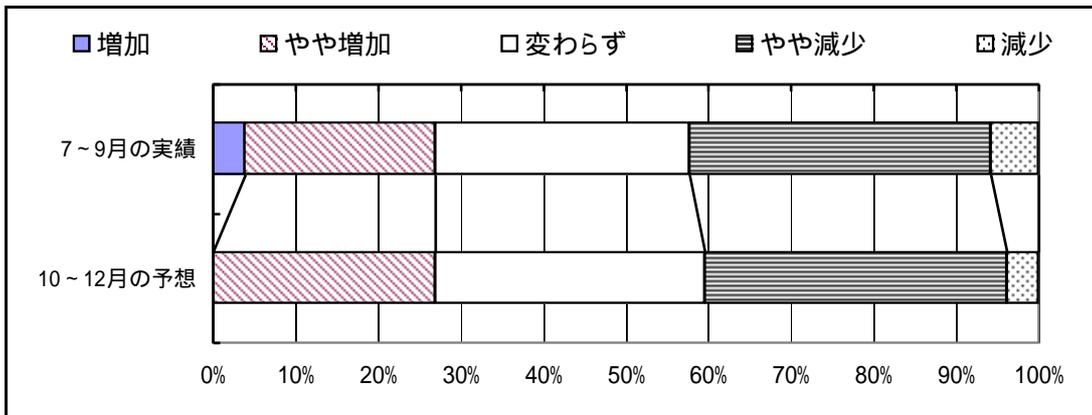
第133回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客52先で、内訳は製造業20先、卸売業6先、小売業11先、サービス業4先、建設業8先、不動産業3先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は9月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

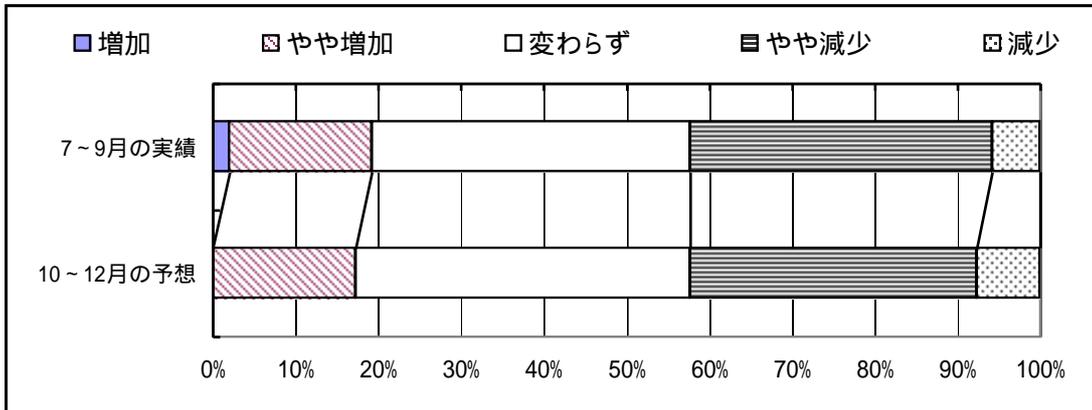
業況



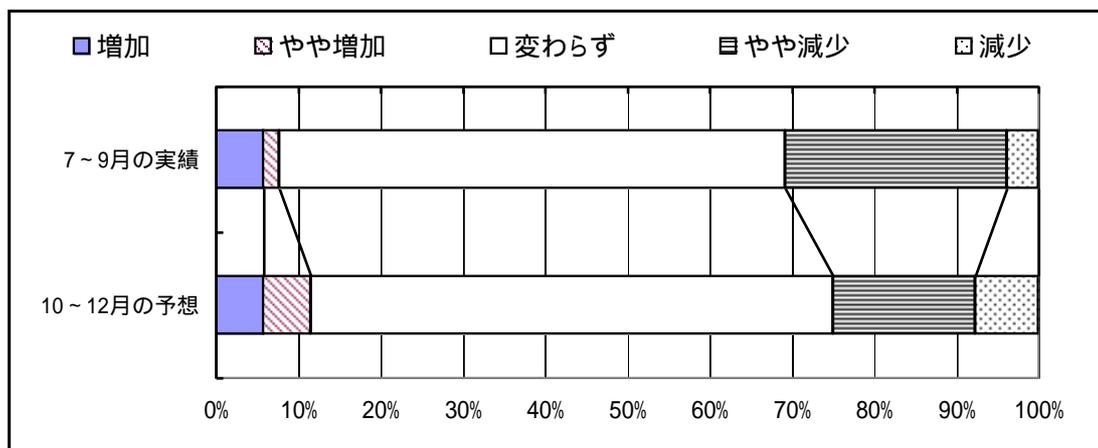
売上



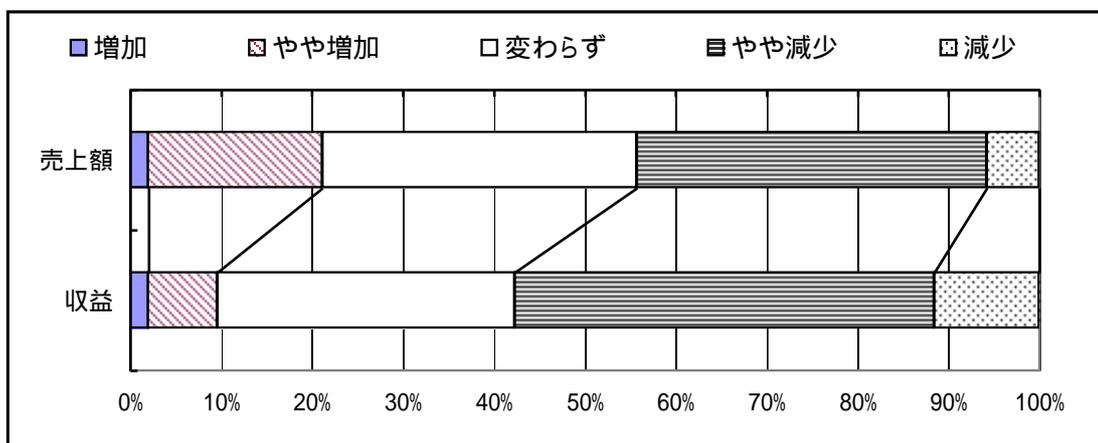
収益



資金繰り



昨年同期比の売上・収益



「経営上の問題と当面の重点経営施策」について

経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
原材料高 売上の停滞・減少 利幅の縮小 人手不足	仕入先からの値上げ要請 取引先の減少 売上の停滞・減少 利幅の縮小	商店街の集客力の低下 売上の停滞・減少 大型店との競争の激化 利幅の縮小	売上の停滞・減少 店舗・設備の狭小・老朽化 利幅の縮小 材料価格の上昇	材料価格の上昇 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少	売上の停滞・減少 利幅の縮小 同業者間の競争の激化

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する 販路を広げる 人材を確保する	経費を節減する 販路を広げる 品揃えを充実する 新しい事業を始める	売れ筋商品を取扱う 経費を節減する 品揃えを改善する	経費を節減する 販路を広げる 宣伝・広告を強化する 店舗・設備を改装する	経費を節減する 販路を広げる 情報力を強化する 技術力を高める	経費を節減する 宣伝・広告を強化する 情報力を強化する

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行; 銚子信用金庫
編集; 営業推進部
住所; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話; 0479-25-2121
FAX; 0479-24-4591
E-mail; eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL; <http://www.choshi-shinkin.co.jp>

ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円(うち消費税850円)

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧ください。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載!

みなさまのお申込みをお待ちしています。